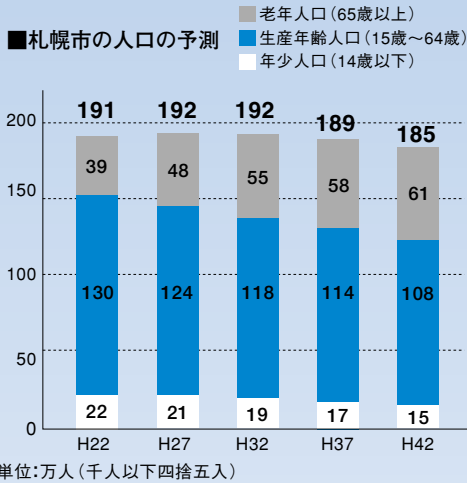


変化

キーワード



なぜビジョンをつくる必要があるの？

札幌市は、平成27年ごろをピークに人口が減少に転じ、平成42年には3人に一人が高齢者になるなど、かつて経験したことのない時代を迎えます。また、経済基盤を強化すること、道都としての役割を果たすことなど、将来に向けて取り組むべき課題も多くあります。

急激な社会情勢の変化に対応しながら、まちの課題を解決し、魅力を高めていく。そのために、10年先を見据えた、新しいまちづくりの指針である「まちづくり戦略ビジョン」をつくる必要があります。

共有

キーワード



7/18に行われた意見交換の場「ワールドカフェ」では、400人を超える市民が将来の札幌の可能性について語り合った

市民は何をしたらいいの？

道路や学校など、都市基盤の整備が課題だった時代は、行政が指針づくりを主導してきました。しかし、今の札幌のまちづくりの主役は市民の皆さんです。そのため、このビジョンは市民と行政が共有できるよう、共に考えながらつくり上げていきたいと考えています。

そこで、市民会議を開き、市民の視点を加えて検討を進めるほか、意見募集やワークショップなど、さまざまな参加の機会を設けます。市民の皆さんには、こうした機会を通じて、札幌の将来を方向づけるビジョンづくりに参加していただきたいのです。

将来の札幌を一緒につくりませんか

経験したことのない時代の中でも、札幌が輝き続けていくために、市は多くの意見を取り入れ、市民と行政が共有できるまちづくりの指針をつくっていきます。まちづくりの主役である皆さんのご意見が、これからの札幌を形づくれます。ぜひビジョンづくりにご意見をお願いします。

意見提出「10年後、どんな札幌に暮らしたいか」のご意見とともに、住所、氏名、年齢、性別、電話番号を記入し、政策企画部企画課(市役所内1階、ファクス218-5109、Eメールki.kikaku@city.sapporo.jp)へ送付、ファクス、Eメール。

※寄せられたご意見の一部は、後日、本誌で紹介。紹介された方にはウィズユーカーを進呈します

ワールドカフェでは、みんな本当に札幌が大好きで、初めて会う人ともすぐ打ち解けられる「寛容さ」を持っていると感じました。また、一人一人の何気ない意見が互いに交わることで、将来のまちを考えるヒントが生まれることも分かりました。あまり難しく考えず、「こんなまちになってほしい」という思いを率直に伝えることが、明るい未来をつくる原動力になると思います。

意見交換の場「ワールドカフェ」にゲストとして参加したジャーナリスト

小山内 美香さん

